

週間漁海況情報—第39号

平成25年10月7日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

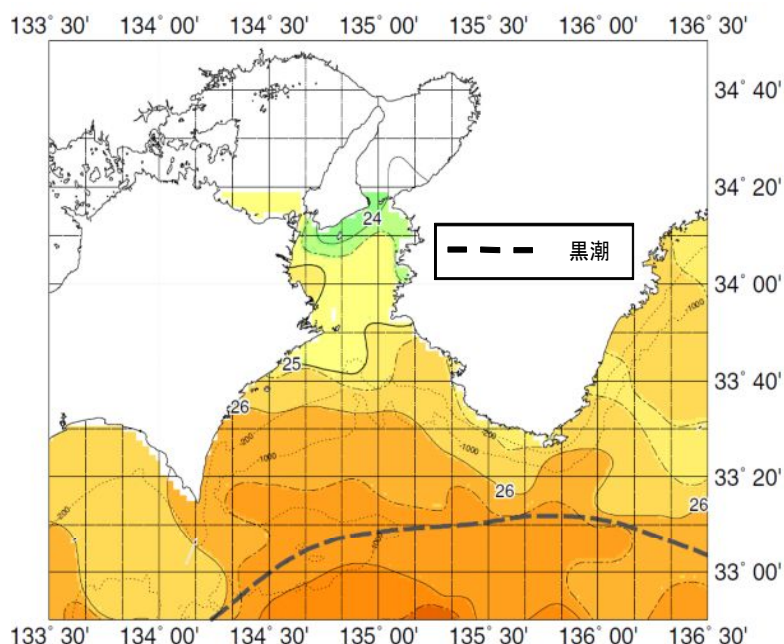
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.10.7）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、26～27℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で24～25℃台、紀伊水道で23～25℃台、海部沿岸で24～26℃台である。紀伊水道外域への顕著な暖水流入は確認できない。

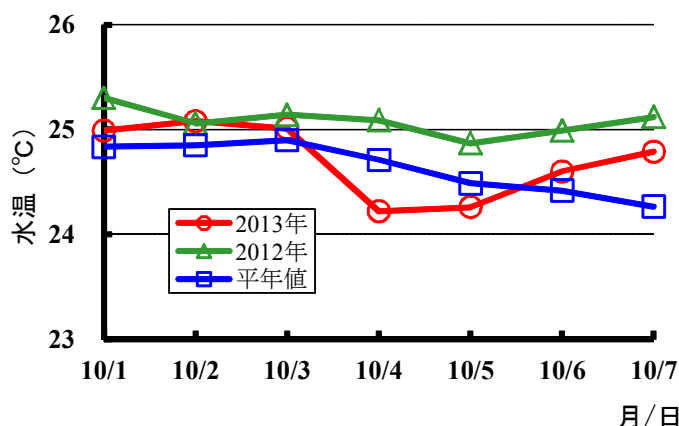


漁業調査船「とくしま」で10月1日に行った播磨灘海区の海洋観測では、表層が「やや高め」の25.5℃、10～30m層が「平年並」の24.9～25.1℃であった。

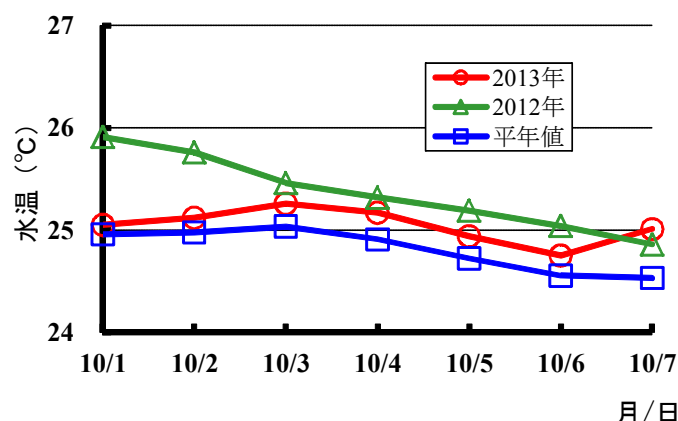
播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
10/1	今年値	25.5	25.1	25.0	24.9	31.0	31.1	31.2	31.5
	平年偏差	0.5	0.3	0.2	0.2	-0.7	-0.7	-0.7	-0.5
	前年偏差	-0.6	-0.8	-0.9	-0.9	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1

鳴門地区地先水温（最近1週間）



日和佐地区地先水温（最近1週間）



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「やや高め」の24.2～25.1℃、日和佐地区は「平年並」～「やや高め」の24.8～25.3℃、牟岐地区は「平年並」～「やや高め」の24.9～26.4℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、キダイが0.3トン（1日1隻あたり20kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、中主体にカワハギが0.7トン（同5kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが1.5トン（同27kg）、小主体にマルアジが6.5トン（同148kg）、カマス類が1.8トン（同27kg）、アオリイカが0.3トン（同4kg）水揚げされた。

釣り：紀伊水道で、中主体にサワラが0.4トン（同53kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが232.5トン（同1,875kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 9月30日～10月6日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	14	278	20	大主体
建網		カワハギ	133	677	5	中主体
小型定置網		マアジ	55	1,503	27	小主体
		マルアジ	44	6,506	148	小主体
		カマス類	68	1,820	27	
		アオリイカ	63	277	4	
釣り	紀伊水道	サワラ	7	371	53	中主体
パッチ網		シラス	124	232,500	1,875	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の10月1日～10月7日には、海部沿岸では、延縄で、キダイが0.7トン、カワハギが0.3トン、小型定置網で、小主体にマアジが0.3トン、小主体にマルアジが0.3トン、マルソウダが0.3トン、釣りで、大主体にタチウオが0.9トン、特大主体にカツオが0.2トン、中主体にキハダが0.3トン、紀伊水道では、釣りで、中主体にサワラが0.5トン、パッチ網で、シラスが37.5トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において、「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の24℃台、日和佐地先で「平年並」～「やや高め」の24～25℃台で推移する見込み。